



丸森町



国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

記者発表資料
令和6年8月22日
丸森町
仙台河川国道事務所

「阿武隈川丸森地区かわまちづくり」計画登録証伝達式を行います。 ～まちと水辺が融合した良好な空間形成(かわまちづくり)に向けて～

令和6年8月8日付で、丸森町の「阿武隈川丸森地区かわまちづくり」計画が、国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録されたことに伴い、丸森町役場にて登録証伝達式を下記のとおり8月26日に行いますのでお知らせします。

◆「阿武隈川丸森地区かわまちづくり」計画登録証伝達式

1. 日時：令和6年8月26日（月）10：00～10：30（予定）
2. 場所：丸森町役場 4階 第2委員会室
3. 出席者：丸森町長
東北地方整備局 河川部長

◆丸森町が申請した「かわまちづくり」計画に基づき、国土交通省では同地区において、地域と連携した賑わいのある水辺空間を創出し、丸森町の進める魅力あるまちづくりを支援していきます。また、現在整備を進めている河川防災ステーションを「丸森地区 MIZBE ステーション」として、上面などを活用した平時の取組をかわまちづくりと一体的に展開することにより、さらなる賑わいの創出を図っていきます。

◆「かわまちづくり支援制度」の登録については、東北地方整備局においても記者発表を行っております。

東北地方整備局記者発表：

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/100906_1.pdf

◆添付資料

- 資料1 かわまちづくり計画の概要
- 資料2 かわまちづくり支援制度の概要
- 資料3 MIZBE ステーションの概要
- 資料4 MIZBE ステーションとは

<発表記者会>

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】

- 丸森町 総務課 課長 おおうち いちろう 大内 一郎 電話：0224-87-7353（直通）
- 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 電話：022-248-4131（代表）
副所長（河川担当） こん しんいちろう 金 真一郎（内線204）
工務第一課長 いそべ のりちか 磯邊 則親（内線311）

「阿武隈川丸森地区かわまちづくり」(宮城県丸森町)

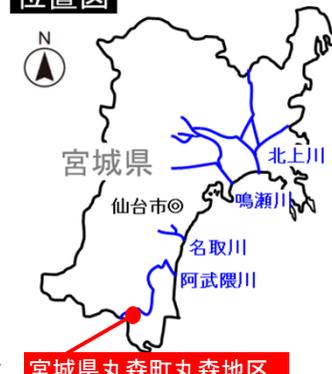
別紙1

対象河川：一級河川 阿武隈川水系阿武隈川 【国管理河川】

位置図

市町村名：宮城県丸森町

推進主体：丸森町



1. 概要

丸森町では、令和5年度に策定した丸森町観光振興計画の重点プロジェクトとして、「水辺の交流拠点整備プロジェクト」を位置づけています。

この取組を充実させるため、「阿武隈ライン舟下りの拠点」や「かわみなとフットパス」などの整備を行い、阿武隈川を軸としたエリアの一体感の創出および回遊性の向上を図ります。

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川占用敷地許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

- 国土交通省：階段護岸、管理用通路、階段、坂路、側帯、高水敷修正 等
- 丸森町ほか：ベンチ(休憩場所)、河岸整正、照明設備、サインシステム 等

3. ソフト施策の内容

- 国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等
- 丸森町ほか：舟運事業、河川防災ステーションおよび大階段を利用したイベント、フットパスを活用した散策ツアー 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、内容を変更する場合があります。

水源地から河口まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和6年8月時点:286地区)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川／大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川／広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川／新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川／美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川／長井市)



親水護岸の利用
(新町川／徳島市)

まるもりちく
「丸森地区MIZBEステーション」(宮城県丸森町)

別紙3

対象河川：一級河川 ^{あぶくまがわ} 阿武隈川水系 ^{あぶくまがわ} 阿武隈川【国管理河川】
 市町村名：宮城県 ^{まるもりまち} 丸森町
 推進主体：丸森町 ^{まるもりまち}



1. 概要

丸森地区MIZBEステーションは、平常時のにぎわいを創出する空間、イベント広場、眺望広場を整備します。また、資材置き場についても平常時利用に配慮し、植樹や段差により資材が目立たないよう空間デザインを行います。

拠点のカフェや健康施設、水辺の心地よい風景による「滞在のしやすさ」、フットパスによる町内周遊の促進による「地域連携」、国道113号に面し、「アクセスのしやすさ」を備えた平常時利用の促進と居心地のよい風景づくりを進めています。

災害時は、緊急復旧活動や水防活動の拠点となります。

2. 整備内容

国土交通省：盛土造成、緊急復旧用資材備蓄置場の整備、ヘリポート整備 等
 丸森町ほか：水防センター、観光交流拠点、平常時利活用施設 等

MIZBEステーション整備イメージ

芝生広場
公園・緑地、イベント会場、スポーツ広場としての利用

緊急復旧用備蓄資材置場
根固めブロック、岩ズリ等の緊急復旧用資材を備蓄するエリア

ヘリポート
ヘリコプターが離着陸するエリア

眺望広場・プロムナード
阿武隈川の眺望を楽しめるスペース

イベント広場
マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場

盛土造成
ステーションの底地を盛土造成

ポケットパーク
既存樹木を保全 休憩施設の設置を検討

水辺への動線 (階段・スロープ)
チケット売り場のある水防センターから船着場まで、階段・バリアフリー対応のスロープを整備

階段護岸
阿武隈川ライン船下りの船着場等で利活用

水防センター・観光交流拠点

- 防災学習の場、観光案内、飲食・物販スペース、健康施設、阿武隈ライン舟下り、かわみなとフットパス、川風トレイルの拠点としての整備を検討
- 敷地内にバス停を設置し、公共交通で来訪可能とする

<凡例>
■ MIZBEステーションで整備
■ かわまちづくりで整備

平時利活用のイメージ

水防センター（防災学習）

芝生広場（イベント開催）

イベント広場（マルシェ）

※今後、内容が変更になる場合があります。

- ◆ 河川防災ステーションは、災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる施設です。
- ◆ 河川防災ステーションの上面などを活用した平時における市町村等の取り組みにより、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションを「MIZBEステーション」として登録します。
- ◆ 災害時と平時両面の機能を併せ持つMIZBEステーションは、水防関係者や住民などあらゆる関係者に活用されることで「流域治水」推進の起点となり、また地域の賑わいの核として地域活性化を推進します。

《MIZBEステーションのポイント》

①滞在のしやすさ

- ・ 駐車場やトイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実



広い駐車場



水防多目的センター



防災啓発コーナー

②地域連携

- ・ 地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設または隣接



運動・教室スペース(エクササイズ)



水防センター(武道交流館)



民間商業施設と隣接

③アクセスのしやすさ

- ・ 幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境



県道



道の駅

国道

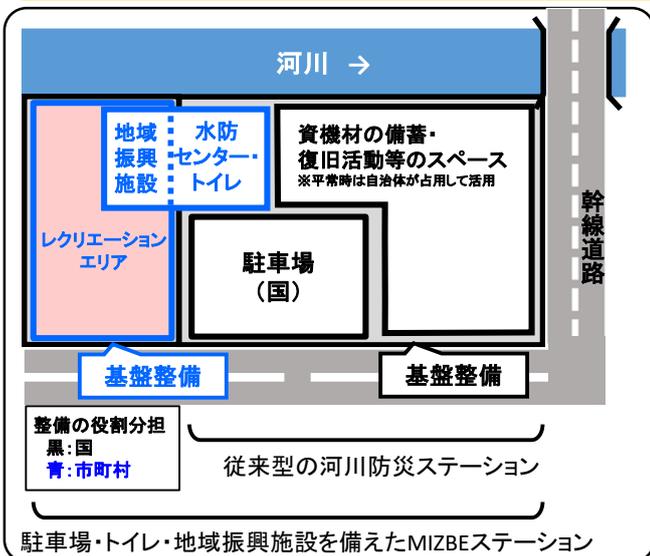


水防センター(道の駅内)

国道

道の駅

駐車場



MIZBEステーションの整備イメージ



MIZBEステーションを拠点とした自然体験活動例



MIZBEステーションを拠点とした各種イベント実施例